

## 14 首都圏・大阪における展開に関する事項

### 1) 首都圏における展開について

開設から4年目を迎えた東京オフィスを首都圏における活動拠点として、更に積極的に活用するべく、首都圏企業との情報交換・懇談会へ積極的に参加するとともに、入試部と連携した独自イベントを開催、併せて学生募集活動に伴う高校・予備校などへの訪問も実施した。また、公開講座（REC コミュニティカレッジ東京）に関する広報活動を展開するとともに、校友会東京支部や神奈川県支部総会開催等に伴う支援活動や、首都圏に勤務する卒業生との懇談交流会などの充実に努めた。

#### ◆就職活動支援

就職支援イベントとして、「チャレンジ東京プログラム」を実施（10月4日～5日）し、他大学の学生との交流や現役で活躍する卒業生との企業研究会、面接対策など行った。企業人事担当者との面談会である「東京企業懇談会」も実施（11月4日～6日）し、文系・理系合わせて、のべ113社との情報交換がなされた。

#### ◆学生募集活動

入試に関連した本学独自のイベントとして、「2008年度 高等学校と大学との情報交換・懇談会」を大手有名予備校の協力支援も得て開催（10月31日）するとともに、東京、千葉、神奈川などの高等学校、予備校を訪問し、さらなる入試制度の浸透を図る広報活動を展開した。また首都圏で開催される入試セミナーへの参加のみならず、入試媒体業者との懇談機会を拡大し、さらなる本学入試制度の浸透と併せ、関東圏の大学や高等学校等の情報収集を行った。

#### ◆生涯学習事業支援

公開講座（REC コミュニティカレッジ東京）の開催に伴い、首都圏における卒業生を対象とした会合等での広報を行うとともに、官庁（京都府及び京都市東京事務所等）への広報活動と併せて支援協力を要請し、当該官庁事務所内へのパンフレット設置のみならず、同官庁主催のイベント案内時における本学公開講座パンフレット配布や刊行物などへの掲載（公開講座の開催案内告知）等を実現した。

### 2) 大阪における展開について

大阪オフィスは第4次長期計画の拠点展開の1つとして東京オフィス、北米拠点RUBeCに次いで2008年10月1日に設置した。設置の主な目的は、①本学の学生確保における重要な地域・大阪で恒常的な事業展開の拠点とする。②大阪地域におけるキャリア・就職支援活動の拠点とし就職進路支援の新たな展開を図る。③生涯学習事業の拡充を図るとともに大阪地域における密接でスピーディーな産官学連携事業の展開を図ることであり、また、大阪地域で事業展開を行うことにより本学の知名度向上とブランドイメージの向上を図ることとした。

利用者数は、2008年10月1日～2009年3月31日までで述べ4,235名（内卒業生166名）であり、ピーク時には1日最大136名の利用があった。主な利用形態としては、就職活動を行う学生（卒業生）の利用、ついで入試相談会や入試願書の受け取り等であった。

#### ◆キャリア・就職支援： 就職活動支援のワンストップサービスを提供

就職活動のワンストップサービスを提供しており、キャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリング、エントリーシート・履歴書添削、就職情報収集用パソコンの利用、証明書発行、履歴書販

売等、深草・瀬田学舎のキャリア開発部と同等の機能を有している。2008年10月1日～2009年3月19日まで延べ1,110名のキャリアカウンセリングを実施し、ピーク時には1日最大42名のキャリアカウンセリングを実施した。企業の人事担当者の来訪求人等も多くあり、その他にも大阪オフィス独自の企業セミナーを9件企画し、学生と企業人事担当者との出会いの場の創出を行い内定者を出すことに結びついた。

◆入試相談会の実施

10月16日から11月14日までの夕刻に、入試部主催の入試相談会を10日間実施した。周知期間が短かったが、大阪近郊に勤務・通学する保護者や高校生が来室し相談をおこなった。また相談会以外にも、入試要項(願書)等の受け取りが適宜あった。